

# HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌  
2011 vol.26

## ハイチ大地震から1年 ～災害救援活動報告～



皆さんはハイチという国を御存知でしょうか？カリブ海に浮かぶ小さな島。西半球で最貧国と言わされている国です。1年前の2010年1月12日、マグニチュード7.0の大地震は人々の平和を奪いました。死者22万人、被災者200万人という大規模な地震は、人々の生活、経済を麻痺させ被災者の生活再建のためには長期にわたる包括的な復興支援が必要とされ、日本赤十字社は発災直後からJRCとして活動を続けました。発災6カ月後、私はJRC第6班として活動を引き継ぐこととなり、医療活動のニーズは急性期医療から、地域における保健衛生活動のニーズに移行しておりました。チームの大きな役割は、①現在運営しているクリニックの閉鎖②モバイルクリニックの開始③感染症の予防対策、治療です。

クリニックでの診療活動では、感染創のある患者や、高体温の患者が来院し、処置が必要となりましたが、多くは慢性疾患に移行しており、中でも感染症（皮膚疾患、性感染症、呼吸器疾患）が大半を占めました。（1496名／23日間）

また、私達第6班は新たな取り組みとしてレオガントいう地域でのモバイルクリニックを開始しました。（日本でいう巡回診療です）キャンプを巡回する度に痛感した事は「人間にとつて安全な水がこれほどまでに重要であるのか？」ということでした。確かに、他国赤十字社等の介入により、トイレや給水タンクが設置されている所はありましたが、ハイチの人々が生活していくには十分とは言えません。清潔な水が確保できない事で皮膚疾患、性感染症、下痢など多くの感染症を引き起こしていきました。安全な水を確保し衛生指導することで改善、蔓延予防できると考え、出来る限りの処置と衛生環境を保つよう指導を行いました。これらは大きな問題である為、今だなお日本赤十字社の職員が公衆衛生活動、安全な水を確保する取り



巡回診療の様子

活動終盤に入り、住民へクリニックの閉鎖をアナウンスした後は、共に働いていた地元のスタッフと信頼関係を構築しながらもミッションの目標は終了に向かっていると、いう複雑な状況でした。チームのモチベーションが最後まで維持できるよう拙い英語ながらも毎日声掛けを行い、コミュニケーションを大切にしました。雇用や給与の相談もありました。時間を持ち説明することで納得してもらうことができました。



新仮設診療所開始前

活動途中で、これは私が日本の現場で『どのような状況下においてもチームが気持ちよく目標に向かって働くことができるよう努める』という係長としての目標と一致すること、それを海外で実践するチャンスなのだと気がつきました。いつ何どきも相手を認め、思いやることを忘れないこと、チームのモチベーションに配慮することが重要なことを再認識しました。そしてセルフマネージメントを行うことです。何か問題にぶち当たった時も、プラスの思考に発想を転換し自分のモチベーションを維持し続けるよう心がけました。

『全ては自分の心の持ちよう』

国際救援において国境を越えての人と人の繋がり、チームで働くことの大切さを経験できた事は私にとって大きな財産となりました。この財産を現場で活かせるよう日々精進したいと思います。

最後に派遣にあたり支援して下さった皆様に感謝いたします。そして、ハイチ地震において亡くなられた方々にお悔やみを申し上げると共にハイチ国の復興を願います。私はこのような方々に何ができるのか考え続けたいと思います。



共に働いたチームメンバー



## 「専門・認定看護師のお仕事」

～専門性を追求し、看護の質と、患者さま・ご家族の

「Quality of Life」の向上をめざしています!!～



左から)石川看護師、長尾看護師  
末吉看護師、塩崎看護師

専門看護師とは、日本看護協会の専門看護師認定審査に合格し、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、ご家族と集団に対し、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための特定の専門看護分野の知識・技術を深めた看護師です。

認定看護師とは、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有している看護師です。通常業務以外に、所属部署を越えた活動を行うほか、院内外の専門分野における教育と連携も担っています。

当院では、左記の4名がそれぞれの分野で、患者さまに対する高度な看護の実践や、看護職に対する指導やコンサルテーション、研修などに取り組んでいます。

### 【専門分野で活躍する看護師の紹介】

**がん看護専門看護師**  
(平成22年 がん看護専門看護師教育課程修了)

長尾 綾子



平成22年3月にがん看護博士前期課程を修了しました。がん看護専門看護師は、がん患者さまやご家族に対する身体的・精神的・社会的・スピリチュアルケアの他、よりよいケアを目指したチーム医療の推進、がん患者さまに関する医療者からの相談や医療者に対する教育、がん患者さまに関する倫理的問題の解決、がん看護に関する研究を行っています。

**がん化学療法看護認定看護師**  
塩崎 節子



がん化学療法は治療の中核であり、多くの患者さまが化学療法を受けられています。近年、化学療法は

病棟から外来へと移行しています。そのため患者さまも副作用のセルフマネジメントを行っていただいている。がん化学療法において重要なことは、患者さまの副作用の調節をしていくこと考えています。患者さまから日常の生活の状況を伺いながら、QOLが維持できるよう患者さまと一緒に方法を考えながら、日々看護支援を行っています。

**救急看護認定看護師 石川 広子**



救急認定看護師の役割は、救急医療ニーズに応え危機状況にある患者さまおよびご家族への精神的援助と、幅広い救急看護領域の知識や技術を、状況に応じて的確に判断し、確実に実践することです。看護ケアの根拠と効果の測定や評価をするために欠かすことのできないフィジカルアセスメント能力の育成や、二次救命処置技術の指導を院内外で行い、救急看護の質の向上を目指しています。

**感染管理認定看護師**  
(平成22年 研修修了) 末吉 弥生



感染のリスクを最小限にし、病院に関わる全ての人々を感染から守ることを目的に、院内感染サーベイランス、感染管理教育、コンサルテーション、感染症情報の提供、適切な感染対策の実施の確認をリンクナースと共に実行しています。感染制御チームの一員として、ラウンドを週二回実施し、感染対策上の問題点、抗菌薬の適正使用や相談・指導を行っています。また院内感染対策マニュアルの改訂や感染制御セミナーを行い、患者さまが安心して治療に専念できる安全な療養環境と、職員が健康に働くことができる職場環境を目指しています。

## 『がんシリーズ③』終了!



2月9日、がんシリーズ最終回として、『がんを生きる未知・道・満ち・生き方を自分で決めるために』を開催しました。当院のがん化学療法看護認定師の塩崎看護師と、がん専門看護師の長尾看護師のお話を熱心に聞いていただき、質疑応答の場面では、様々な質問やご意見が寄せられました。アンケートでは、「初めて受けました。ありがとうございます。」「治療の為に生きる事は本当に嫌です。大変参考になりました。」「治療の為に生きる事は本当に嫌です。大変参考になりました。」「がんシリーズの最後のテーマみたいですが、継続してテーマとしてやってほしい」など多数のご意見をいただき、ありがとうございました。

次年度も色々なテーマでのセミナーを企画しています。皆様のご参加をお待ちしております。

地域医療連携室

正井 鈴子

よ も や ま ば な し  
お 薬 四 方 山 話

20

『インフルエンザと治療薬』

薬剤部 牛尾 明日香



インフルエンザにかかった場合、抗インフルエンザウイルス薬を服用することで、ウイルスの増殖を抑え、病気の期間を短くしたり重症化を防ぐことができます。2010年に入り、A型・B型の両型に効果のあるインフルエンザ治療薬として、これまでの、オセルタミビル内服薬（タミフル）、ザナミビル吸入薬（リレンザ）に加え、ベラミビル注射薬（ラピアクタ）、ラニナミビル吸入薬（イナビル）が新たに発売されました。どちらも1回の点滴または吸入で十分な効果が得られ、オセルタミビル耐性例にも効果を発揮するといわれています。また、重症例や経口投与が困難な場合にも使用でき、薬の飲み忘れや症状改善による服薬中止を懸念する必要がないことが特徴です。

いずれのお薬も、症状発症後48時間以内に投与しなければ効果が現れにくくなります。従来のお薬では、服薬中止により体内に残っているウイルスが周りの人々に感染する可能性がありますので、熱が下がったあとも、お薬はきちんと使い切り、最低2日間は自宅で療養しましょう。

2009年には、新型ウイルスにより世界的大流行（パンデミック）が引き起こされました。インフルエンザの薬物治療についてお話しします。

## 栄養課だより

24

栄養課長 福井 俊弘

アダムとイブの「りんご」が有名ですが、世界一綺麗な白雪姫が口にした真っ赤な「りんご」が美味しい季節です。

今回はアップルティーを紹介します。作り方は簡単です。

①りんごの皮を剥いてお鍋でお湯を沸騰させます。

②火を弱めてから紅玉（香りが良い）の皮を入れて煮出します。皮の色が抜けて、湯が淡いピンクに色づいたら火を止めます。

③ティーポットに茶葉を入れ（ティーバッグでも美味しくできます）、鍋の湯を注いで茶葉がひらくまで待ちます。  
④あたためたティーカップにそそいでいただきます。

★紅玉はワックスなしのものを選ぶか、きれいに洗って下さい。

★何時もの紅茶にりんごの皮を入れて飲む前に取り出す、私はこれでOKです。奥さんに作ってあげてください。喜ばれますよ！



①今回はサンつがるです



②湯がピンク色になつたら大丈夫



③ティーカップに注いでね



### 基本方針

- 患者さまの人権と意思を尊重し、根拠に基づいた、安心と満足が得られる医療を提供します。
- 地域医療機関と連携して、地域全体で一貫した医療を提供します。
- 救急医療、災害救護・国際救援活動を行います。
- 内外の医療従事者の育成に努めます。
- わたしたちは、日々研修・研鑽し明るく活力ある職場づくりに努めます。

### 神戸赤十字病院「患者の権利に関する宣言」

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援してまいります。

- 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
- だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 病気、検査、治療、見通しなどについて、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
- 十分な説明と情報提供を受け、納得したうえで、検査や治療方法などを自分の意思で選ぶ権利があります。
- 自分が受けている診断や治療について、他の医師の意見を求める権利があります。(セカンドオピニオン)
- 自分が受けている医療を知るために、診療記録の開示を求める権利があります。
- 研究途上にある医療に関して、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、それを受けるかどうか決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。
- 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。



## ～サンタクロースから 音色のプレゼント～



### 楽器紹介

#### 中国古箏



古箏(こうそう)とは中国の撥弦楽器です。弦の本数は12本のものが代表的で、15本から25本のものが存在します。金属弦を用い、右手の指にはじいて演奏します。

#### オカリナ



オカリナとは気鳴楽器の一つで、管楽器とは発音原理を異にする特徴的な楽器です。とても素朴でまろやかな音色が特徴です。

毛藤さんはクリスマスを思わせる真っ赤な素敵なチャイナドレスで登場されました。華麗で鮮やかな古箏の音色が響きわたり、観客の皆さんをうつとりさせました。中国の曲を数曲に加え、「里の秋」「春よ来い」「など聞きなじみのある曲を演奏してくださいました。



中国古箏を演奏する毛藤さん

会計課

杉原  
通子

熱心に耳を傾けて演奏を聞かれる観客のみなさんの穏やかな表情がとても印象的でした。今年のクリスマスコンサートも、美しく飾り付けられたツリーと素敵な音楽で、冬の寒さを忘れるほどの心温まる時間となりました。



オカリナを演奏する高橋さん



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society  
神戸赤十字病院

神戸赤十字病院広報誌 HAT CROSS 2011 Vol.26

発行日 2011年2月

発行者 神戸赤十字病院 広報委員会

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番1号

TEL(078)231-6006(代) FAX(078)241-7053

ホームページ <http://www.kobe.jrc.or.jp/>